

有効期間満了：2013年8月26日

案件名	Taisei 1ton Club
申請者	大成建設株式会社
案件の概要	会社がとりまとめ役となって排出権を購入し、2010年度に家庭から排出される二酸化炭素量1人あたり1,965トンのうち、1トン以上についてオフセットする社員参加型の取組み「Taisei 1ton Club」を実施する。
認証区分・タイミング	Ⅱ（自己活動オフセット支援） オフセット済み認証
カーボン・オフセットの主体（帰属先）	大成建設社員のうち有志655名
算定範囲	国立環境研究所 温室効ガスインベントリオフィスの『日本の温室効果ガス排出量データ（1990～2008年度）確定値（家庭からの二酸化炭素排出量（一人あたり、燃料種別（2008年）））をもとに算出した、家庭での1人あたりの排出量のうち、石炭・灯油・LPG・都市ガス・電力・熱・ガソリン・灯油からのCO2排出量：1.965トン* *出典）国立環境研究所温室効ガスインベントリオフィスウェブページ 期間：2010年4月1日～2011年3月31日
オフセット量 / 算定排出量	973t / 1287.075t
クレジット種別	京都クレジット（CER）
プロジェクト名	ブラジルサンパウロ州パウリニアにおける亜酸化窒素排出削減プロジェクト
無効化日	平成22年4月15日
情報公開	<p><b>【カーボン・オフセットの仕組みの説明】</b></p> <p>カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができないCO2等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。（*1）</p> <p><b>【地球温暖化対策の喫緊性の説明】</b></p> <p>地球温暖化は、気象現象への影響、海面上昇のみならず、生態系・自然環境への影響、社会への影響も大きいと考えられます。地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出削減のために、事業者による商品の製造・運搬・使用・廃棄時の省CO2化及びサービスの省CO2化の促進が求められています。（*2）</p> <p><b>【カーボン・オフセット商品等提供主体の削減努力】</b></p> <p>ISO14001の認証を取得し、グリーン購入、グリーン調達を行っています。</p>

また、チャレンジ25キャンペーンに参加し、クールビズ、ウォームビズ、ライトダウン・キャンペーン2010やエコキャップ推進運動等に取り組んでいます。

**【消費者（参加者）の削減努力の促進に関する情報】**

「Taisei 1ton Club」参加者にシリアルナンバー入りのステッカー配布時に啓発のちらしを配布しました。

情報提供のウェブサイトにてGHG排出量等環境負荷の少なくなくなるようなライフスタイルを推進する予定です。

**【オフセットの対象とする活動、期間、人数、距離等】**

大成建設社員の有志655名の各家庭で排出されるCO<sub>2</sub>の中で1人あたりの排出量のうち、石炭・灯油・LPG・都市ガス・電力・熱・ガソリン・灯油からのCO<sub>2</sub>排出量1.965トン（\*3）を対象として、1トン以上についてオフセットします。

尚、各家庭で排出されるCO<sub>2</sub>の中で1人あたりの排出量は、国立環境研究所 温室効果ガスインベントリオフィスの『日本の温室効果ガス排出量データ（1990～2008年度）確定値（家庭からの二酸化炭素排出量（一人あたり、燃料種別（2008年）））をもとに算出しています。

期間：2010年4月1日～2011年3月31日

**【対象とする活動に伴う排出量とオフセット量】**

排出量：1288トン、オフセット量：973トン

**【算定の根拠としたガイドライン名または算定式等】**

カーボン・オフセットの対象活動から生じるGHG排出量の算定方法ガイドライン（ver. 1.1）

**【クレジットの種類】** 京都クレジット（種類：CER）

**【クレジットの認証プログラム（制度）名】** 日本政府承認 CDM/JI プロジェクト No. 223

**【クレジットの調達状況】** 2010年4月6日に調達済み

**【クレジットの無効化方法】** 2010年4月15日に無効化

**【クレジット調達期限・通知方法】**

**【プロジェクト名】** ブラジルサンパウロ州パウリニアにおける亜酸化窒素排出削減プロジェクト

**【プロジェクト実施国・実施地域】** ブラジルサンパウロ州パウリニア

**【プロジェクトタイプ】** 化学工業

**【プロジェクト概要】**

本プロジェクトは、アジピン酸製造時に放出される亜酸化窒素の熱分解工場を設置することです。パウリニアのアジピン酸工場のベースラインはCO<sub>2</sub>換算713万トン/年となります。熱分解工場プロジェクトによるCO<sub>2</sub>削減量は、596万トン/年と予想されます。

有効期間満了：2013年8月26日

<p>【プロジェクト期間】 2007年から7年間</p> <p>【プロジェクトの排出削減・吸収量】 596万 t/CO2/年 排出削減</p> <p>【カーボン・オフセットの主体】 ※13</p> <p>「Taisei 1ton Club」の参加者：大成建設社員の有志 655名</p> <p>【カーボン・オフセットの取組み】</p> <p>活動開始日の2010年4月1日～カーボン・オフセット認証取得までの期間で、</p> <p>本取組みについての変更はありません。</p> <p>(*1) 環境省 HP より</p> <p><a href="http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset.html">http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset.html</a></p> <p>(*2) 環境省 HP 「STOP THE 温暖化 2008」より</p> <p><a href="http://www.env.go.jp/earth/ondanka/stop2008/index.html">http://www.env.go.jp/earth/ondanka/stop2008/index.html</a></p> <p>(*3) 国立環境研究所「温室効果ガスインベントリオフィス」より</p> <p><a href="http://www-gio.nies.go.jp/aboutghg/nir/nir-j.html">http://www-gio.nies.go.jp/aboutghg/nir/nir-j.html</a></p>
--